



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月2日

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4559 URL <https://www.zeria.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 伊部 充弘

問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 西澤 知幸

TEL 03-3661-1039

四半期報告書提出予定日 2022年2月4日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	45,104	11.7	5,495	41.6	5,613	57.6	4,043	9.2
2021年3月期第3四半期	40,370		3,879		3,561		3,702	

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 2,169百万円 (45.8%) 2021年3月期第3四半期 4,001百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	89.33	
2021年3月期第3四半期	80.18	

(注) 第1四半期連結会計期間の期首から「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、2021年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。これにより、2021年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	125,981	55,496	43.9	1,228.23
2021年3月期	121,860	56,152	45.9	1,225.09

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 55,313百万円 2021年3月期 55,985百万円

(注) 第1四半期連結会計期間の期首から「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、2021年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		17.00		17.00	34.00
2022年3月期		17.00			
2022年3月期(予想)				17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	13.7	5,300	52.5	5,200	62.1	3,700	17.7	81.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

対前期増減率は、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、遡及修正後の前期数値と比較して記載しております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	53,119,190 株	2021年3月期	53,119,190 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2022年3月期3Q	8,084,330 株	2021年3月期	7,420,461 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期3Q	45,266,623 株	2021年3月期3Q	46,174,949 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 販売実績	10
(2) 新薬パイプラインの状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高は、451億4百万円（前年同四半期比11.7%増）となりました。利益につきましては、営業利益54億95百万円（前年同四半期比41.6%増）、経常利益56億13百万円（前年同四半期比57.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益40億43百万円（前年同四半期比9.2%増）となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度との比較・分析を行っております。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①医療用医薬品事業

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」につきましては、海外市場における高用量製剤「アサコール1600mg」の伸長を背景に好調に推移いたしました。炎症性腸疾患（IBD）治療剤「エントコート」（国内販売名：「ゼンタコート」）につきましては、カナダ・スペイン等一部地域で苦戦し、売上は減少いたしました。また、2020年11月にAstellas Pharma Europe Ltd.より欧州・中東などにおける製造販売権を承継したクロストリジウム・ディフィシル感染症治療剤「ディフィクリア」につきましては、すでに欧州主要国での製造販売権の承継手続きが終了し、売上に大きく貢献しております。なお、2020年9月より国内にて販売を開始した「フェインジェクト」につきましては、消化器科・産婦人科を中心に市場構築に努めております。

これらの結果、当事業の売上高は、275億29百万円（前年同四半期比22.6%増）となりました。

②コンシューマーヘルスケア事業

昨年度売上が大きく減少した「ヘパリーゼ群」につきましては、医薬品ヘパリーゼ群の伸長に加え、当第3四半期にコンビニエンスストア向けヘパリーゼW群の売上が回復に転じ、売上は増加いたしました。一方で「コンドロイチン群」や植物性便秘薬「ウィズワン群」、殺菌消毒薬などの衛生用品につきましては、競合品の影響などにより、売上は減少いたしました。

なお、当第3四半期連結累計期間に、「イオナ スパ&ミネラル Wクレンジング」及び西洋ハーブ製剤「ベルフェミン」を発売いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は、174億55百万円（前年同四半期比1.9%減）となりました。

③その他

保険代理業・不動産賃貸収入などにより、当事業の売上高は1億19百万円（前年同四半期比0.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は1,259億81百万円となり、前連結会計年度末対比41億21百万円の増加となりました。その内訳は流動資産が434億34百万円で、前連結会計年度末対比61億20百万円の増加、固定資産が825億46百万円で、前連結会計年度末対比19億99百万円の減少となっております。流動資産の増減の主なものは、現金及び預金の増加25億22百万円、受取手形及び売掛金の増加37億86百万円、商品及び製品等の棚卸資産の増加7億74百万円、前渡金の減少等流動資産のその他の減少10億36百万円であります。また、固定資産の増減の主なものは、有形固定資産の減少5億62百万円、無形固定資産の減少16億3百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は704億85百万円となり、前連結会計年度末対比47億77百万円の増加となりました。その内訳は流動負債が464億98百万円で、前連結会計年度末対比72億98百万円の減少、固定負債が239億86百万円で、前連結会計年度末対比120億76百万円の増加となっております。流動負債の増減の主なものは、短期借入金の減少83億35百万円、未払費用の増加等流動負債のその他の増加6億65百万円であります。固定負債の増減の主なものは、長期借入金の増加115億72百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は554億96百万円となり、前連結会計年度末対比6億56百万円の減少となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上40億43百万円、前期末及び当中間期の配当の実施15億43百万円、自己株式の増加13億68百万円、その他有価証券評価差額金の減少9億51百万円等によるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末と比べ2.0%低下し、43.9%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結累計期間までの連結業績につきましては、海外市場におけるアサコール、ディフィクリアの好調な推移を背景に、通期の利益予想を上回る結果となっております。しかしながら、新型コロナウイルス感染再拡大の影響や為替の動向が不透明であることから、現時点では2021年11月1日発表の通期連結業績予想を変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,793,938	12,316,571
受取手形及び売掛金	13,635,627	17,421,712
有価証券	3,032	3,007
商品及び製品	5,969,887	6,462,466
仕掛品	1,504,855	1,572,754
原材料及び貯蔵品	3,629,263	3,843,344
その他	2,916,210	1,879,911
貸倒引当金	△138,662	△64,858
流動資産合計	37,314,152	43,434,908
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	7,138,269	6,782,760
土地	12,350,879	12,353,232
その他（純額）	4,145,133	3,935,351
有形固定資産合計	23,634,282	23,071,345
無形固定資産		
のれん	6,429,153	5,982,349
販売権	27,950,633	27,021,091
その他	7,690,024	7,462,402
無形固定資産合計	42,069,811	40,465,844
投資その他の資産		
投資有価証券	5,915,274	6,330,041
退職給付に係る資産	12,453,878	12,175,519
その他	510,876	539,852
貸倒引当金	△37,835	△35,650
投資その他の資産合計	18,842,193	19,009,763
固定資産合計	84,546,287	82,546,953
資産合計	121,860,440	125,981,861
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,693,938	2,055,827
短期借入金	44,158,858	35,823,636
未払法人税等	562,594	970,005
賞与引当金	1,268,150	869,754
その他	6,113,932	6,779,464
流動負債合計	53,797,474	46,498,689
固定負債		
長期借入金	5,819,600	17,391,820
契約解除損失引当金	281,160	239,760
退職給付に係る負債	1,308,891	1,388,830
資産除去債務	55,578	55,777
その他	4,445,061	4,910,716
固定負債合計	11,910,291	23,986,904
負債合計	65,707,766	70,485,593

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593,398	6,593,398
資本剰余金	11,685,121	11,685,121
利益剰余金	46,353,650	48,943,101
自己株式	△14,997,702	△16,366,239
株主資本合計	49,634,467	50,855,382
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	137,448	△814,140
為替換算調整勘定	2,599,199	2,145,786
退職給付に係る調整累計額	3,614,155	3,125,973
その他の包括利益累計額合計	6,350,802	4,457,619
非支配株主持分	167,402	183,264
純資産合計	56,152,673	55,496,267
負債純資産合計	121,860,440	125,981,861

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	40,370,003	45,104,773
売上原価	11,916,423	13,279,666
売上総利益	28,453,580	31,825,106
販売費及び一般管理費	24,573,682	26,329,373
営業利益	3,879,897	5,495,732
営業外収益		
受取利息	20,535	11,252
受取配当金	221,880	190,851
為替差益	—	131,834
その他	110,576	65,437
営業外収益合計	352,991	399,376
営業外費用		
支払利息	169,973	232,304
為替差損	425,471	—
その他	75,965	49,612
営業外費用合計	671,410	281,916
経常利益	3,561,478	5,613,192
特別利益		
固定資産売却益	—	3,483
投資有価証券売却益	375,143	14,589
債務取崩益	678,080	—
特別利益合計	1,053,223	18,072
特別損失		
固定資産売却損	646	—
固定資産除却損	683	4,002
特別損失合計	1,329	4,002
税金等調整前四半期純利益	4,613,373	5,627,262
法人税等	910,054	1,578,735
四半期純利益	3,703,318	4,048,526
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,184	4,937
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,702,133	4,043,589

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	3,703,318	4,048,526
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	512,702	△951,588
為替換算調整勘定	148,109	△438,971
退職給付に係る調整額	△362,752	△488,181
その他の包括利益合計	298,059	△1,878,741
四半期包括利益	4,001,378	2,169,784
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,005,593	2,150,406
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,215	19,378

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間より、株式会社ゼリアアップは重要性が増したため、連結の範囲に含めております。また、新たにTillotts Pharma Italy s.r.l.を設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取る見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、得意先に支払われる販売奨励金等について、従来、販売費及び一般管理費として処理する方法によっておりましたが、売上高から減額する方法に変更しております。また、将来予想される返品については、従来、売上総利益相当額に基づき返品調整引当金を計上しておりましたが、変動対価に関する定めに従って、販売時に収益を認識しない方法に変更しております。当該会計方針の変更は、原則として遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。ただし、収益認識会計基準第85項に定める以下の方法を適用しております。

- (1) 前連結会計年度の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約について、比較情報を遡及的に修正しないこと
- (2) 当連結会計年度の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に含まれる変動対価の額について、変動対価の額に関する不確実性が解消された時の金額を用いて比較情報を遡及的に修正すること

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期連結累計期間の売上高は2,004,636千円減少し、売上原価及び返品調整引当金繰入差額は合計で11,892千円減少し、販売費及び一般管理費は2,015,679千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ22,935千円増加しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は50,629千円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、流動負債に表示していた「返品調整引当金」48,674千円及び「売上割戻引当金」77,210千円は、流動資産の「その他」に1,103千円、流動負債の「その他」に126,988千円組替えております。

時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	22,452,444	17,798,181	40,250,625	119,378	40,370,003	—	40,370,003
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	106	106	456,584	456,690	△456,690	—
計	22,452,444	17,798,287	40,250,731	575,962	40,826,693	△456,690	40,370,003
セグメント利益	3,409,307	4,041,328	7,450,635	196,804	7,647,440	△3,767,542	3,879,897

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△3,767,542千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	27,529,565	17,455,657	44,985,222	119,551	45,104,773	—	45,104,773
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	96	96	443,481	443,578	△443,578	—
計	27,529,565	17,455,753	44,985,318	563,033	45,548,352	△443,578	45,104,773
セグメント利益	5,543,942	3,509,182	9,053,124	198,599	9,251,724	△3,755,991	5,495,732

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△3,755,991千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの売上高及び利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の売上高及び利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。

3. 補足情報

(1) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	前年同四半期比 増減(△)率(%)
医療用医薬品事業	27,529,565	22.6
コンシューマーヘルスケア事業	17,455,657	△1.9
報告セグメント計	44,985,222	11.8
その他	119,551	0.1
合 計	45,104,773	11.7

(注) セグメント間の取引については、相殺消去しております。

(2) 新薬パイプラインの状況

I. 国内開発状況

(2022年2月2日現在)

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
フェーズⅢ	Z-338/アコチアミド	ゼリア	小児機能性ディス ペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅢ	ZG-801/ パチロマーソルビテクスカルシウム	ゼリア	高カリウム血症	陽イオン結合非吸収性 ポリマー	導入品

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
フェーズⅢ (欧州)	Z-338/アコチアミド	ゼリア	機能性ディスペ シア	上部消化管運動改善作用	自社品

発売となった開発品

発売日	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
2021年7月 (中国)	Z-206/メサラジン	ゼリア・Tillotts Pharmaの共同開発	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出調整剤	自社(Gr)品

自社(Gr)品：自社グループオリジナル品